

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 9 No 01

90号

平成13年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

謹賀新年

今年もよろしく、
お願い致します。



新しい世紀の幕開け

院長

さて21世紀、果たしてどんな年になるのでしょうか。20世紀を長く生きてきた者にとって、21世紀という響きは何かを予感させるものでした。テレビのなかった子ども時代は漫画が情報源の一つで、未来というとすべて21世紀が舞台となっていました。21世紀にはロボットが人間を手伝い、自動車(?)が空を飛び回るものだと、信じていました。しかし続いている年月は、何も変わらないように見えてしまうものです。我々の年代(今年で?0歳の大台に乗ります)は、ひょっとすると幸せかもしれません。子どものころと今は、大違いなのですから。この21世紀、さてどうなるのでしょうか。

話は異なりますが、我が家は今年波乱万丈の幕開けでした。12月31日までは何事もなく、落ち着いたお正月を迎えられると思っていました。午前0時の年頭の挨拶までは、すべて順調でした。息子が1時11分に開くタイムカプセルを見に行くと言って出かけました。しばらくして具合が悪

いとの電話が入り、帰ってくると顔面蒼白で上腹部に激痛があり嘔吐が始まりました。しばらく様子を見ていましたが、熱も39に上がり改善する気配もないため点滴を始めました。点滴中なので眠るわけにもいきません。深夜テレビで時間を潰していると、今度



は娘が具合悪そうに起きてきました。下痢があり他の症状は同じで、こちらも改善の気配が無いため、点滴と相成りました。おかげで、一晚徹夜ということになってしまったのです。家内が起きて交代してくれるのを期待して待っていましたが、なかなか起きてきません。やっと起きたと思ったら、これまた同じ症状で、点滴となってしまいました。元旦だというのに、おせち料理、お雑煮など口にも出来ませんでした。皆死んだように眠っていたので、電話や来客で起こされてはかわいそうと思い、コーヒーを友として睡魔と必死に戦っていました。夕方になっても全員こんこんと眠り続け、誰も起きてきません。自分でお雑煮を作り、猫と一緒に正月をしたのは夜6時を過ぎたころでした。たった一人のお正月の寂しさ、こんな思いはかつてしたことがありません。改めて家族の大切さ、そして健康の大切さを、痛感しました。小生以外の家族全員が病気で倒れたこと、これも経験です。自分も以前入院したこともあり、本人や家族の辛さ、また一つわかったような気がします。21世紀の『かわむらこどもクリニック』の医療に、役立てていきたいと思っています。

このような幕開けの21世紀、はてさてどんな時代になるのでしょうか。自分勝手に考えて、今年1年の悪運はここで使い果たし、後は幸運が舞い込む!!と、勝手に思い込んでいます。新しい世紀の幕開けです。皆さんも一つ考えてみてください。大事なことは「どんな世紀になる」のではなく、「どんな世紀にする」ことだと思います。

年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございました。本来は御返事を差し上げるのですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同

1月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜日 13:30~
栄養士担当 無料

・休日当番

1月8日(月) 在宅休日当番です

御利用ください。



スタッフから一言

あけまして おめでとう ございます

21世紀、何か新しいことにチャレンジしたいと思っています。何にチャレンジするかは、検討中です。今年もよろしくお祈りします。 中 米

働き始めてまだ1年もたっていませんが、まだまだ勉強していかなければならないと思っています。今年健康に気をつけたいです。 福 地

あけまして おめでとうございます。今年もよい1年になるように、笑顔で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。 茂 木

そろそろ年齢が気になるころ…。今年も精神的・肉体的に若さで、のりきれるよう頑張ります。 三 浦

読者の広場

患者さん専用のメールアドレスに頂いた数は、12月で15件ありました。一つこんなことがあったので、便利な使い方として紹介します。泉区のSさんからのものです。「(略)今日いただいたお薬9包の中に、ひとつだけオレンジ色の粒の混じった薬がありました。そのような説明はなかったと記憶しているのですが、さっき気付いたものですから、薬局に聞くこともできず困っています。飲ませない方が良いでしょうか。」というものです。当日小生は会議で留守にしていたのですが、帰ってからメール読みました。「おそらく別な薬が一部混じったものだから、飲まないでください」と返事をしました。次の日交換したことは言うまでもなく、問題はありませんでした。また薬局の方では、直接届けたということでした。緊急なことすべてに対応はできませんが、こんなふうに役立つということも、覚えておいてください。また最近は質問も増えてきています。宮城野区のMさんから「さて、早速ですが解熱剤について教えて頂きたく、メールさせて頂きました。珍しく、 が今晚の夕飯から食欲がない様子を見せたので解熱剤を使ってみようと思うのですが、座薬を入れた直後に排便をしまった場合でも5~6時間の時間を置いて次の座薬をつかうべきなのでしょうかね? ちなみに今の熱は39度です。元気には遊んでおりますので若干、使用するのを躊躇しています。取り急ぎメールさせて頂きましたので一方的な話でお忙しい中、申し訳ございませんがご返事くださいれば幸いです。」と質問を頂き、早速返事を送りました。そしてまた次のようなメールが入ってきたのです。「早速のお返事、ありがとうございました。とてもタイムリーな対応をしていただいて感激です!。とりあえず、普段通りに遊んでいるのでもう少し様子を見ようと思います。ただ、機嫌が悪く水分と薬を今晚は取っていません。今まで無かったことなので心配しています。一日に何回も恐縮ですがよろしくお祈り致します。」。これにも返事を書いたことは言うまでもありません。もちろん頂いたメールには、すべて返事を書いているのです。

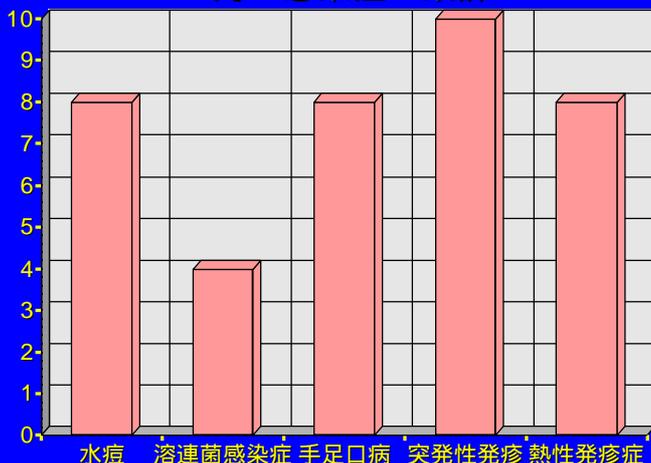


12月21日(木)に、『お母さんクラブ』のクリスマス会が盛会のうちに開催されました。参加した全員が、十分に楽しめたことと思います。皆さんのために「ライオン・ハート」を練習したのですが、いまいちというところでした。参加したお母さんからいただいたメールを頂きました。しかし、「(略) P.S. このお手紙は先生へですので、公表はダメダメをお願いします。」となっていたので、紹介したい気持ちはやまやまなのですが見合わせたいと思います。

かわむらこどもクリニック患者専用アドレス patient@kodomo-clinic.or.jp (携帯からでも可)

i - MODE 小児科ミニ知識 <http://www.kodomo-clinic.or.jp/imode/iwill.html>

12月の感染症の集計



インフルエンザ、厚生省では流行宣言したにもかかわらず、仙台ではまだ流行の兆しもありません。小生の家族がかかったような高熱と消化器症状(嘔吐下痢)のウイルス性胃腸炎は、比較的多く見られています。水痘がやや増加傾向で、溶連菌感染症も、増加しているようです。また発熱期間が長く、咳がひどい肺炎も見られています。

編集後記

今年は、いやな幕開けでした。やはり健康というのが、もっとも大切なことかもしれません。お正月大変と思った矢先、また休日当番。今度は自分の体も、大切にしなければ。これからまた寒くなります。皆さんも!!。

